

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。 ※内はロットNo.表示位置を示します。

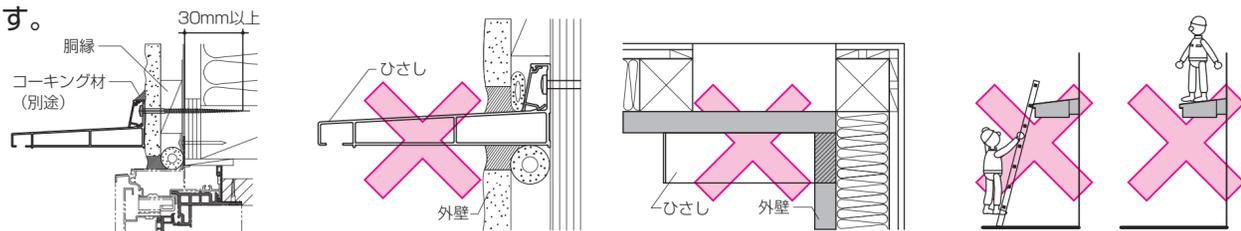
■施工される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

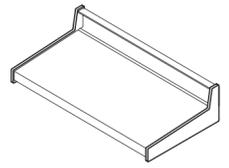
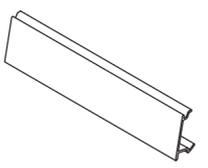
- 取付け強度不足や落下事故の原因になりますので下記事項を厳守してください。
 - ・本製品は一般在来工法及び2×4工法などの木造納まり専用です。木造以外（鉄筋コンクリート・プレハブ造・ALC造）への取付けは行わないでください。
 - ・モルタル外壁、窯業サイディング専用です。他の外壁への取付けはできません。金属サイディングなどは外壁つぶれの原因となります。
 - ・施工前に必ず建築図面などから、躯体（柱など）の位置や外装材、下地材の寸法を確認してください。取付ける躯体（柱など）が確認できない場合は、ご使用をおやめください。
 - ・取付けねじの躯体へのねじ込み深さは、30mm以上確保できる事を確認してください。取付けねじ長さは75mmです。取付けられる外壁は43mm以下です。外壁総厚さ（同縁含む躯体から外壁表面までの厚さ）が43mmより厚い場合は、別途ねじ込み深さが30mm以上を確保できるねじをご用意ください。
 - ・取付けスペースがあり、躯体（柱など）があっても外壁のソリや凹凸寸法が5mm以上の場合は取付けできませんのでご注意ください。
 - ・窯業サイディングで金具止め通気工法などの胴縁を使用しない通気工法による外壁への取付けはしないでください。
 - ・必ず指定の太さのドリルを使用し、同梱のねじを使用してください。
 - ・躯体に下穴をあけないようにご注意ください。
- 漏水の原因になるおそれがありますので下記事項を厳守してください。
 - ・本製品は壁付け専用です。本製品のサイドカバー部を外壁内部に埋込まないでください。サイドカバー部の水抜き穴から出た水が躯体内部に回るおそれがあります。外壁仕上がり後に取付けてください。
 - ・外壁材に穴をあけてねじ止めするところは、あらかじめねじ穴にコーキング材を充てんした後、ねじ止めしてください。
 - ・外壁材とサッシ、ひさしと外壁材の取合い部には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- 本製品の上ののったり、はしごを掛けたりしないでください。落下事故や商品の変形などの原因になります。



■取付け上のおお願い

●ひさし取付け穴が、躯体（柱など）に合わない場合はあけ直してください。

■部材・部品一覧

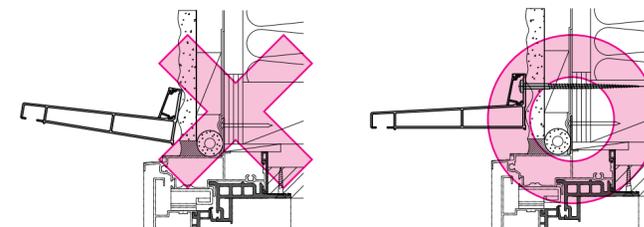
ひさし本体	目板	部品セット	取付け説明書
		 コーススレッドねじφ4.1×75	
1体	1本	1~3セット	1枚

■取付け順序

1 取付け位置決め

1 取付け位置決め

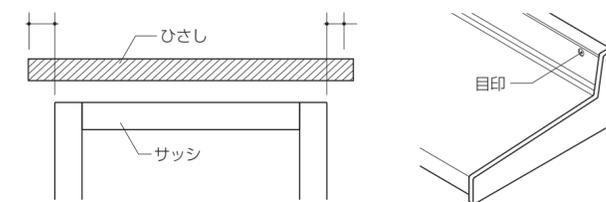
●外壁の凹凸によりねじ締め時にひさしが傾かないように水平に安定する位置を確認してください。



2 取付け穴の位置決め

2 取付け穴の位置決め

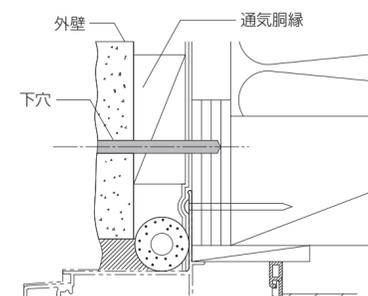
●サッシに対して左右の位置を合わせ、ひさしの取付け穴の位置を決めてください。



3 取付け穴あけ

3 取付け穴あけ

●取付け穴の目印に合わせて外壁に下穴をあけてください。必ず躯体（柱など）に打てる事を確認してください。
●φ4のドリルを使用してください。



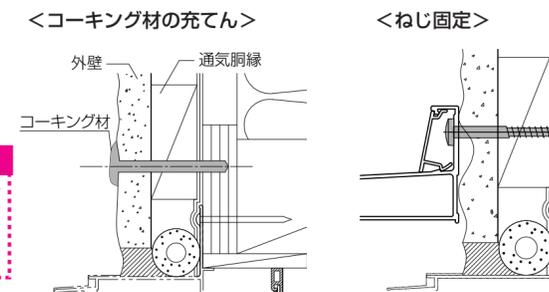
▲注意

- 必ず指定の太さのドリルをご使用ください。
- 躯体に下穴をあけないようにご注意ください。

4 ひさしの取付け

4 ひさしの取付け

●ひさしを外して下穴にコーキング材を充てんしてからねじで固定してください。
●コーキング材は、穴の縁にも外壁のくぼみより厚く盛り上げてください。



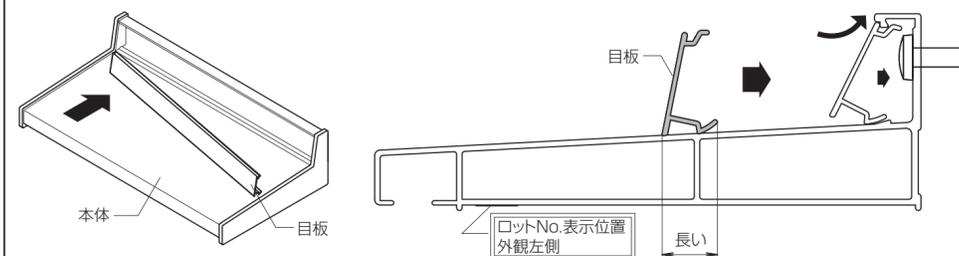
▲注意

- 指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。
- 必ず同梱のねじをお使いください。

5 目板の取付け

5 目板の取付け

●本体に沿って目板を確実にはめ合わせてください。
●目板には向きがあります。下図を確認ください。
●目板のはめ合わせが固い場合は、当て木を当ててハンマーでたたき込んでください。



6 ひさしと外壁のコーキング

6 ひさしと外壁のコーキング

●ひさしの上面・両側面と外壁との取合い部分にコーキング材を充てんしてください。

▲注意

- 指定個所には、必ずコーキング材を充てんしてください。

